

“もったいない”が地球を救う 地域を救う

資源循環型地域社会を実現する会（CS分科会）

四国ESD フォーラム2025×新居浜市SDGs 推進プラットフォーム全体会

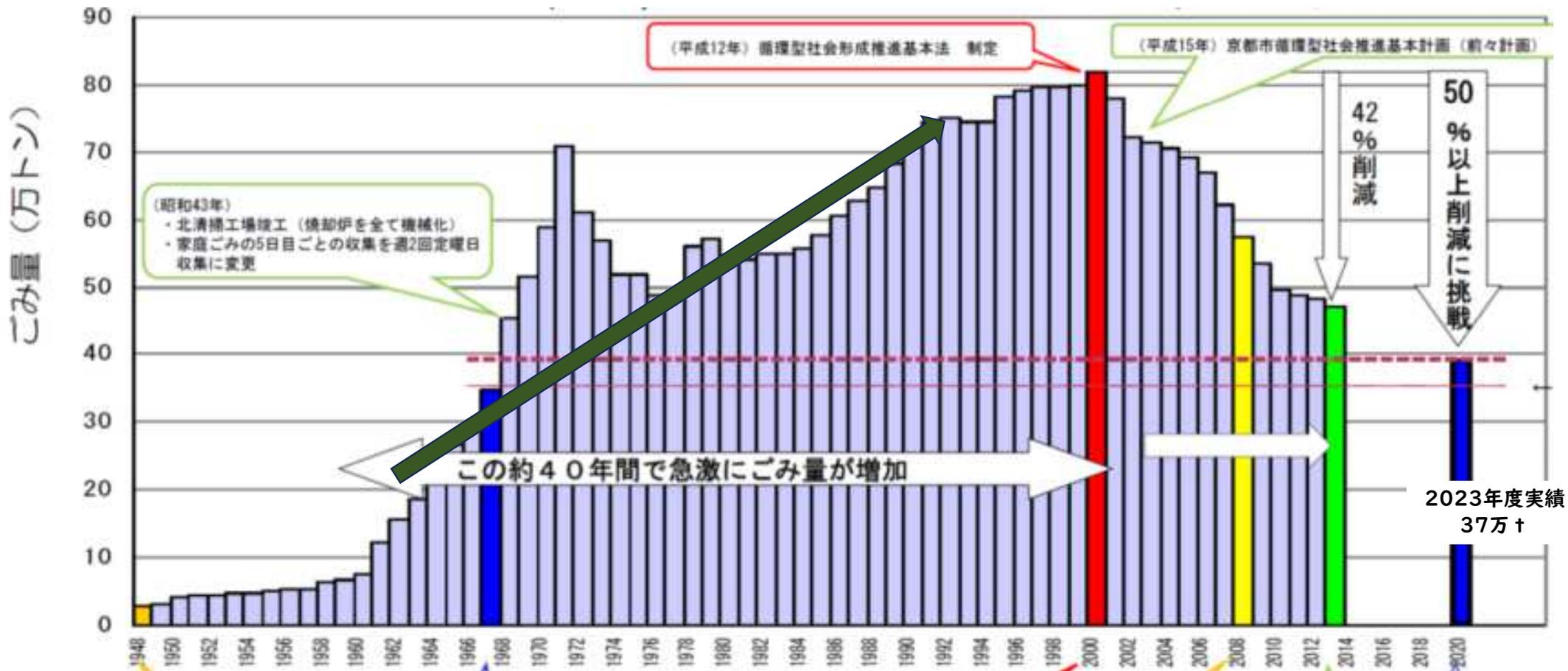
2025年 2月 9日

にはま生涯学習センターSDGs未来の会

<本日の発表内容>

1. 活動を始めたきっかけ
2. 持続可能な循環型地域社会への取組み
3. 活動内容の紹介
“もったいないクラブ”の活動を中心に
4. 活動で感じたこと

【活動の原点】 京都市ごみ排出量の推移



新・京都市ごみ半減プラン（R27年3月）より抜粋

にはまSDGsプラットフォーム／分科会の活動

『資源循環型地域社会を実現する会』

「生涯学習センターSDGs未来の会」



1. 食品廃棄物（食品ロスなど）の削減と再生利用

～地域の社会システムの変革～

- ①学校給食センターの食品廃棄物
- ②食品製造会社の食品廃棄物
- ③地域全体の事業系食品廃棄物

2. 「もったいないクラブ」

～1人ひとりの行動変容～

- ①公民館、公共施設等で参加者が「もったいない」話し合う
日常生活の「もったいない」を見直してSDGs
- ②小・中学校、保育園などのSDGs活動を提案・お手伝い
 - ・日常の繰り返し
 - ・成果が見える
 - ・自発的な活動
 - ・負担が比較的少ない
 - ・地域の参加

【 活動内容 】

1. 食品廃棄物の削減・再生利用

～地域社会のシステム変革～

① 学校給食センターの食品廃棄物

廃棄物を資源として循環 → 環境、食育、有機栽培

② 食品製造会の廃棄物

有益な微生物を使ってアップサイクル（新居浜高専で培養中）

③ 地域の事業系食品廃棄物の有効利用

微生物の発酵でできるメタンガスを使って発電

（実施可能性、進め方を検討中）

2. “もったいないクラブ”

～行動変容のための草の根運動～

④ 日常生活の“もったいない”見直し

“身近なSDGs”を話し合う

一人ひとりができることから始める（意識と行動のギャップ）

2024年2～5月 会場別に 9回 延べ140人

同 11月 テーマ別に 3回 延べ50人

活動事例 (1) 歯ブラシリサイクルプログラム

(2) 布ぞうりの制作



新居浜市SDGsプラットフォーム活動 もったいないクラブ

「もったいない」はモノを大切にする**“言葉”**です。
身の回りの「もったいない」に取り組むことで
SDGsを進めることができます。
皆さんで「もったいない」を話し合しましょう。

《会場》 口屋跡記念公民館 ひまわり組
《日時》 5月29日(水) 15時～16時30分



第1回北中子ども会議を兼ねて実施します。
子ども会議のメンバーは、ぜひ参加してください。



北中生の参加を楽しみにしています。
若者の意見を聞かせて下さい。



《お問い合わせ》

口屋跡記念公民館／0897-32-8430
生涯学習センターSDGs未来の会／090-5406-4428

SDGsについての説明のあと 参加者が 日常の“もったいない”を自由に話し合う



着物リフォーム 買物や調理のSDGs
コーヒーかすや使い捨てカイロ再利用
家庭の省エネ(うちエコ) ごみの出し方
鍋帽子 節水・雨水利用 など

活動事例(Ⅰ) 歯ブラシ回収プログラム

公民館（市内 18 カ所）



新居浜市生涯学習センター



新居浜高専



ごみステーション



新居浜市役所ロビー



総合福祉センター



回収箱の表示



歯科医院のポスター



活動事例(2) <布ぞうりの制作>

もったいないクラブ女性部会



⑤ 小・中学校などのSDGs 「もったいない for School」

取り組みやすいSDGsの実践例を提案

- ・自発的な取り組み
- ・日常の身近な取り組み
- ・活動の意義がわかりやすい
- ・成果が見える
- ・負担が少ない

活動事例 「エコキャップ」活動

ペットボトルのキャップを回収してリサイクル

- ・世界の子供たちにワクチンを届ける
- ・ごみ削減 & CO2削減

これまで活動のネックだった搬送が、明治安田生命さんのご協力で解消

エコキャップ活動



認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会 (JCV) ☎ 03-5419-1081
JCV お問い合わせ 資料請求 www.jcv-jp.org Plastics Smart

<回収拠点>

学校や公民館など11カ所



<ペットボトルキャップの目安>

約2kgでポリオワクチン1人分

キャップ500個=約1kg 45ℓゴミ袋=約7kg

活動で感じていること

- SDGsの認知度は高い ⇒いま 必要なのは行動
日常の中で“もったいない”を意識して行動
- 一人が出来ることは限られる、皆で取り組むと社会が変わる
(禁煙・分煙社会が実現した例)
- 学校のSDGs ⇒ 行動・体験する & 楽しく取り組む
 - ・学校行事の中にSDGsを取り入れる
例えば修学旅行、運動会、野外実習など
 - ・地域や企業と一緒に取り組む

資源循環型社会の実現は
私たち一人ひとりの意識と行動
“一人の百歩より百人の一步”

ご清聴ありがとうございました